

建通新聞 静岡

2026年(令和8年)
7月1日水曜日



静岡県砕石業協同組
理事長

かわ ひら やすし
川村 靖 氏

砕石の可能性切り開く

46歳の理事長が誕生した。
31歳から静岡県砕石業協同組
合の理事を16年間務め、運営



審議委員長や技術運営委員長
を歴任。理事長に就任し「今
までと同様、会員の困りごと
を聴いて、課題に対処する」
体制をより強める。

盛土規制条例での規制強
化、100%鉄鋼スラグを静
岡県の道路用砕石(下層路盤
材)として使用できるように
する鉄鋼メーカーの動き、貨
物自動車運送事業法(改正ト
ラック法)の施行など、業界
の課題は数多い。

「県などとの意見交換の場
を設けることが、個別の企業
にはない、業界団体としての
強み。対話の場を設け、業界
の立場、考え方を伝えること
が自分の役目」と自負する。

「静岡県産」の材料の利活
用を訴えて地元砕石業を守り
つつ、砕石の新しい可能性も
模索する。数年前に組合のホ
ームページを作ったところ
「砕石をサウナストーンにで
きないか」「ドローンの試験
飛行に採石場を使えないか」

【略歴】2005年4月カ
ワムラ入社、18年10月同社代
表取締役社長就任。11年5月
に静岡県砕石業協同組理事
就任。運営審議委員長、技術
運営委員長を歴任。今年5月
29日、理事長(代表理事)に
就任。

静岡県砂利工業組合の理事
も務めており、同組合の理事
長は砕石業協同組合の理事で
もある。両団体のつながりを
生かし「陳情活動など、何ら
かの連携ができないか」と、
将来を見据える。